

2023年06月26日

取扱暗号資産概要説明書

一般社団法人日本暗号資産取引業協会（JVCEA）が公表する「暗号資産概要説明書」を基に作成しています。情報の正確性、信頼性、完全性を保証するものではありません。

暗号資産の名称	ビットコイン
ティッカーコード	BTC、XBT
暗号資産の単位	0.00000001 BTC
発行者	なし
発行主体概要	不特定の保有・移転管理台帳記録者による発行プログラムの集団・共有管理
発行方法	分散型の価値保有・価値移転の台帳データ維持のための、暗号計算および価値記録を行う記録者への対価・代償として発行される暗号資産
発行可能上限額	約2,100万BTC
一般的な性格	分散型の価値保有・価値移転の台帳データ維持のための、暗号計算および価値記録を行う記録者への対価・代償として発行される暗号資産
保有・移転記録の秘匿性	ハッシュ関数(SHA-256、RIPEMD-160)、楕円曲線公開鍵暗号の暗号化処理を施しデータを記録
価値移転記録の信頼性確保の仕組み	Proof of work コンセンサス・アルゴリズム(分散台帳内の不正取引を排除するために、記録者全員が合意する必要があるが、その合意形成方式)の一つであり、一定の計算量を実現したことが確認できた記録者を管理者と認めることで分散台帳内の新規取引を記録者全員が承認する方法。
価値移転認証の仕組み	台帳形式。価値移転認証を求める暗号データを記録者が解読し、利用者および移転内容の真正性を確認して価値移転記録台帳の記録を確定する。
価値移転ネットワークの信頼性に関する説明	オープンネットワークの脆弱性に対し、暗号により連鎖する台帳群(ブロックチェーン)および記録者による多数決をもって移転記録が認証される仕組みを用い、多数の記録者のネットワークへの参加を得ることによって、データ改竄の動機を排除し、信頼性を確保する。
記録者の信用力に関する説明	記録者による多数の合意がなければ不正が成立せず、記録者が十分に多数であることによって、個々の記録者の信用力に頼らず、記録保持の仕組みそのものを信用の基礎としている。

暗号資産の名称	イーサ(イーサリアム)
ティッカーコード	ETH
暗号資産の単位	0.00000001 ETH
発行者	Ethereum Foundation
発行主体概要	不特定の保有・移転管理台帳記録者による発行プログラムの集団・共有管理
発行方法	初期発行と、分散型の価値保有・価値移転の台帳データ維持のための、暗号計算および価値記録を行う記録者への対価・代償としてプログラムにより自動発行
発行可能上限額	未確定
一般的な性格	分散型の価値保有・価値移転の台帳データ維持のための、暗号計算および価値記録を行う記録者への対価・代償として発行される暗号資産。 分散型アプリケーションが動作する実行環境の役割を果たす特徴を持つ。
保有・移転記録の秘匿性	公開鍵暗号の暗号化処理を施しデータを記録
価値移転記録の信頼性確保の仕組み	Proof of Stake コンセンサス・アルゴリズム(分散台帳内の不正取引を排除するために、記録者全員が合意する必要があるが、その合意形成方式)の一つであり、保有している基軸暗号資産の量が多いほど採掘の成功確率が上昇するブロックの承認方式。
価値移転認証の仕組み	台帳形式。価値移転認証を求める暗号データを記録者が解読し、利用者および移転内容の真正性を確認して価値移転記録台帳の記録を確定する。
価値移転ネットワークの信頼性に関する説明	オープンネットワークの脆弱性に対し、暗号により連鎖する台帳群(ブロックチェーン)および記録者による多数決をもって移転記録が認証される仕組みを用い、多数の記録者のネットワークへの参加を得ることによって、データ改竄の動機を排除し、信頼性を確保する。
記録者の信用力に関する説明	記録者による多数の合意がなければ不正が成立せず、記録者が十分に多数であることによって、個々の記録者の信用力に頼らず、記録保持の仕組みそのものを信用の基礎としている。

暗号資産の名称	イーサ(イーサリアムクラシック)
ティッカーコード	ETC
暗号資産の単位	0.00000001 ETC
発行者	なし
発行主体概要	不特定の保有・移転管理台帳記録者による発行プログラムの集団・共有管理
発行方法	初期発行と、分散型の価値保有・価値移転の台帳データ維持のための、暗号計算および価値記録を行う記録者への対価・代償としてプログラムにより自動発行
発行可能上限額	未確定
一般的な性格	分散型の価値保有・価値移転の台帳データ維持のための、暗号計算および価値記録を行う記録者への対価・代償として発行される暗号資産。 分散型アプリケーションが動作する実行環境の役割を果たす特徴を持つ。
保有・移転記録の秘匿性	秘密鍵と公開鍵を用いた暗号化技術により、利用者本人が発信した移転データと特定し、記帳する。
価値移転記録の信頼性確保の仕組み	Proof of work コンセンサス・アルゴリズム(分散台帳内の不正取引を排除するために、記録者全員が合意する必要があるが、その合意形成方式)の一つであり、一定の計算量を実現したことが確認できた記録者を管理者と認めることで分散台帳内の新規取引を記録者全員が承認する方法。
価値移転認証の仕組み	台帳形式。価値移転認証を求める暗号データを記録者が解読し、利用者および移転内容の真正性を確認して価値移転記録台帳の記録を確定する。
価値移転ネットワークの信頼性に関する説明	オープンネットワークの脆弱性に対し、暗号により連鎖する台帳群(ブロックチェーン)および記録者による多数決をもって移転記録が認証される仕組みを用い、多数の記録者のネットワークへの参加を得ることによって、データ改竄の動機を排除し、信頼性を確保する。
記録者の信用力に関する説明	記録者による多数の合意がなければ不正が成立せず、記録者が十分に多数であることによって、個々の記録者の信用力に頼らず、記録保持の仕組みそのものを信用の基礎としている。

暗号資産の名称	ライトコイン
ティッカーコード	LTC
暗号資産の単位	0.00000001 LTC
発行者	なし
発行主体概要	不特定の保有・移転管理台帳記録者による発行プログラムの集団・共有管理
発行方法	分散型の価値保有・価値移転の台帳データ維持のための、暗号計算および価値記録を行う記録者への対価・代償として発行される暗号資産
発行可能上限額	8,400 万 LTC
一般的な性格	分散型の価値保有・価値移転の台帳データ維持のための、暗号計算および価値記録を行う記録者への対価・代償として発行される暗号資産
保有・移転記録の秘匿性	Scryptアルゴリズムを用いたプルーフオブワーク
価値移転記録の信頼性確保の仕組み	Proof of work Scryptアルゴリズムを用いたプルーフオブワークの仕組みにより、Litecoinブロックチェーンの維持管理に参加する者が、ブロック生成に必要な、およそ90秒間隔で発見可能な難易度に調整され、かつ完全に確率的で計算コストの掛かる特定のナンス(nonce)を見つけ、Litecoinネットワークに対し伝播することをもって、維持管理参加者が指定するアドレスに対してプロトコルから付与される。
価値移転認証の仕組み	台帳形式。価値移転認証を求める暗号データを記録者が解読し、利用者および移転内容の真正性を確認して価値移転記録台帳の記録を確定する。
価値移転ネットワークの信頼性に関する説明	オープンネットワークの脆弱性に対し、暗号により連鎖する台帳群(ブロックチェーン)および記録者による多数決をもって移転記録が認証される仕組みを用い、多数の記録者のネットワークへの参加を得ることによって、データ改竄の動機を排除し、信頼性を確保する。

暗号資産の名称	ビットコインキャッシュ
ティッカーコード	BCH
暗号資産の単位	0.00000001 BCH
発行者	なし
発行主体概要	不特定の保有・移転管理台帳記録者による発行プログラムの集団・共有管理
発行方法	分散型の価値保有・価値移転の台帳データ維持のための、暗号計算および価値記録を行う記録者への対価・代償として発行される暗号資産
発行可能上限額	2,100 万 BCH
一般的な性格	分散型の価値保有・価値移転の台帳データ維持のための、暗号計算および価値記録を行う記録者への対価・代償として発行される暗号資産
保有・移転記録の秘匿性	ハッシュ関数(SHA-256、RIPEMD-160)、楕円曲線公開鍵暗号の暗号化処理を施しデータを記録
価値移転記録の信頼性確保の仕組み	Proof of work コンセンサス・アルゴリズム(分散台帳内の不正取引を排除するために、記録者全員が合意する必要があるが、その合意形成方式)の一つであり、一定の計算量を実現したことが確認できた記録者を管理者と認めることで分散台帳内の新規取引を記録者全員が承認する方法。
価値移転認証の仕組み	台帳形式。価値移転認証を求める暗号データを記録者が解読し、利用者および移転内容の真正性を確認して価値移転記録台帳の記録を確定する。
価値移転ネットワークの信頼性に関する説明	オープンネットワークの脆弱性に対し、暗号により連鎖する台帳群(ブロックチェーン)および記録者による多数決をもって移転記録が認証される仕組みを用い、多数の記録者のネットワークへの参加を得ることによって、データ改竄の動機を排除し、信頼性を確保する。

暗号資産の名称	モナコイン
ティッカーコード	MONA
暗号資産の単位	0.00000001 MONA
発行者	なし
発行主体概要	不特定の保有・移転管理台帳記録者による発行プログラムの集団・共有管理
発行方法	初期発行と、分散型の価値保有・価値移転の台帳データ維持のための、暗号計算および価値記録を行う記録者への対価・代償として発行される暗号資産
発行可能上限額	10,512 万 MONA
一般的な性格	日本および世界で有名なアスキーアート「モナー」をモチーフにした日本初の暗号通貨になり、非中央集権によるクライアントプログラムによって維持される完全分散型決済システムを基盤とした暗号通貨。
保有・移転記録の秘匿性	公開鍵暗号の暗号化処理を施しデータを記録
価値移転記録の信頼性確保の仕組み	Proof of work コンセンサス・アルゴリズム(分散台帳内の不正取引を排除するために、記録者全員が合意する必要があるが、その合意形成方式)の一つであり、一定の計算量を実現したことが確認できた記録者を管理者と認めることで分散台帳内の新規取引を記録者全員が承認する方法。
価値移転認証の仕組み	台帳形式。価値移転認証を求める暗号データを記録者が解読し、利用者および移転内容の真正性を確認して価値移転記録台帳の記録を確定する。
価値移転ネットワークの信頼性に関する説明	オープンネットワークの脆弱性に対し、暗号により連鎖する台帳群(ブロックチェーン)および記録者による多数決をもって移転記録が認証される仕組みを用い、多数の記録者のネットワークへの参加を得ることによって、データ改竄の動機を排除し、信頼性を確保する。
記録者の信用力に関する説明	記録者による多数の合意がなければ不正が成立せず、記録者が十分に多数であることによって、個々の記録者の信用力に頼らず、記録保持の仕組みそのものを信用の基礎としている。

暗号資産の名称	リスク
ティッカーコード	LSK
暗号資産の単位	0.00000001 LSK
発行者	Lisk Foundation
発行主体概要	Liskのソースコードの開発とメンテナンスを行っている
発行方法	プログラムによる自動発行
発行可能上限額	無制限
一般的な性格	分散型の価値保有・価値移転の台帳データ維持のための、暗号計算および価値記録を行う記録者への対価・代償として発行される暗号資産
保有・移転記録の秘匿性	公開鍵暗号における公開鍵のハッシュを使って残高を記録
価値移転記録の信頼性確保の仕組み	Delegated Proof of Stake コンセンサス・アルゴリズム(分散台帳内の不正取引を排除するために、記録者全員が合意する必要があるが、その合意形成方式)の一つであり、投票により委任された承認者が取引履歴を管理し、ブロックを承認する仕組み。
価値移転認証の仕組み	台帳形式。価値移転認証を求める暗号データを記録者が解読し、利用者および移転内容の真正性を確認して価値移転記録台帳の記録を確定する。
価値移転ネットワークの信頼性に関する説明	オープンネットワークの脆弱性に対し、暗号により連鎖する台帳群(ブロックチェーン)および当該ネットワークの暗号通貨を多量に保有する人に傾斜的に付与された投票権を使用して選出された記録者による多数決をもって移転記録が認証される仕組みを用い、多数の記録者のネットワークへの参加を得ることによって、データ改竄の動機を排除し、信頼性を確保する。

暗号資産の名称	リップル(XRP)
ティッカーコード	XRP
暗号資産の単位	0.000001 XRP
発行者	Ripple Labs Inc.
発行主体概要	Ripple Labs Inc.
発行方法	2012年のネットワーク発足時に全て発行済み
発行可能上限額	1,000億 XRP
一般的な性格	リップル(XRP)は金融機関の送金において法定通貨間のブリッジ通貨としてオンデマンドの流動性を提供する役割を有している。これによって金融機関は従来よりも格段に流動性コストを下げつつも送金先のリーチをグローバルに広げることができる。また、XRPはRipple Consensus Ledger上での取引における取引料としての性格も有している。ネットワークへの攻撃が起こった時には手数料が自動的に釣り上げられるため、攻撃が未然に防げる仕組みとなっている。XRPは3~5秒ごとにファイナリティをもって決済を行うことができ、1秒につき1000の取引を決済できるスケーラビリティを有する構造となっている。
保有・移転記録の秘匿性	取引はED25519 and SECP256K1によって暗号署名が行われ、ハッシュにはSHA512 halfが使われる。さらに、Multi-sign機能によって高度のセキュリティを可能としている。
価値移転記録の信頼性確保の仕組み	Ripple Consensus Ledger(RCL)はビザンチン將軍問題を解決する独自のコンセンサスアルゴリズムを採用し、Proof-of-Workよりもより速くかつ効率的に取引を承認することができる。信頼される認証済み法人バリデーター(検証者)が取引についての投票を行い、80%以上の合意が得られた取引については承認を行う。RCLでは決済が3~5秒ごとに実行され、1秒につき1000の取引まで対応できるスケーラビリティを有する。
価値移転認証の仕組み	独自のコンセンサスアルゴリズムに基づく。3~5秒ごとにバリデーターが台帳における新たな取引について投票を行い、80%以上の合意を得た取引が承認されたとみなされ、パブリックな台帳に記録される。
価値移転ネットワークの信頼性に関する説明	健全なネットワークを保全する動機を有する認証済法人バリデーターによって取引が承認される仕組みを有している。またネットワークの攻撃に対して自動的に取引手数料が釣り上がる仕組みを有しており、攻撃を未然に防ぐことができる。
記録者の信用力に関する説明	パブリックな台帳ネットワークを保持する動機がある、確認・証明済みの法人がバリデーター(検証者)になっている。そのうち、トップのバリデーター運用のパフォーマンスを示した複数のバリデーターのみがUnique Node List (UNL)という推奨リストに追加され、ネットワークのノードによって参照される。そのため個々の記録者の信用は必要としない仕組みになっている。

暗号資産の名称	ベーシックアテンショントークン
ティッカーコード	BAT
暗号資産の単位	0.00000001 BAT
発行者	Brave Software, Inc.
発行主体概要	ベーシックアテンショントークンを利用したウェブブラウザ Brave を運営、開発している。
発行方法	初期発行のみ
発行可能上限額	15 億 BAT
一般的な性格	2017 年に ICO で初めて発行された。ベーシックアテンショントークンは分散型広告システムで利用されるトークンであり、それによって従来のシステムの仲介者を排除してユーザーの利便性を高めることができる。
保有・移転記録の秘匿性	公開鍵暗号の暗号化処理を施しデータを記録
価値移転記録の信頼性確保の仕組み	Proof of Stake コンセンサス・アルゴリズム(分散台帳内の不正取引を排除するために、記録者全員が合意する必要があるが、その合意形成方式)の一つであり、保有している基軸暗号資産の量が多いほど採掘の成功確率が上昇するブロックの承認方式。
価値移転認証の仕組み	台帳形式。価値移転認証を求める暗号データを記録者が解読し、利用者および移転内容の真正性を確認して価値移転記録台帳の記録を確定する。
価値移転ネットワークの信頼性に関する説明	オープンネットワークの脆弱性に対し、暗号により連鎖する台帳群(ブロックチェーン)および記録者による多数決をもって移転記録が認証される仕組みを用い、多数の記録者のネットワークへの参加を得ることによって、データ改竄の動機を排除し、信頼性を確保する。
記録者の信用力に関する説明	記録者による多数の合意がなければ不正が成立せず、記録者が十分に多数であることによって、個々の記録者の信用力に頼らず、記録保持の仕組みそのものを信用の基礎としている。

暗号資産の名称	ステラルーメン
ティッカーコード	XLM
暗号資産の単位	0.0000001XLM
発行者	ステラ開発財団
発行主体概要	ステラ開発財団
発行方法	ICO、プログラムによる自動発行、プロジェクトへのエアドロップ
発行可能上限額	500 億 XLM
一般的な性格	一般人、中小企業、中小金融機関の間で直接的に資金を移動可能なプラットフォームを利用するための暗号資産。
保有・移転記録の秘匿性	公開鍵暗号の暗号化処理を施しデータを記録
価値移転記録の信頼性確保の仕組み	Stellar Consensus Protocol
価値移転認証の仕組み	台帳形式。価値移転認証を求める暗号データを記録者が解読し、利用者および移転内容の真正性を確認して価値移転記録台帳の記録を確定する。
価値移転ネットワークの信頼性に関する説明	バリデーター(検証者)が取引についての投票を行い、合意が得られた取引については承認を行う事により信頼性を確保する
記録者の信用力に関する説明	記録者による多数の合意がなければ不正が成立せず、記録者が十分に多数であることによって、個々の記録者の信用力に頼らず、記録保持の仕組みそのものを信用の基礎としている。

暗号資産の名称	ネム
ティッカーコード	XEM
暗号資産の単位	0.000001 XEM
発行者	なし
発行主体概要	なし
発行方法	分散型の価値保有・価値移転の台帳データ維持のための、暗号計算および価値記録を行う記録者への対価・代償として発行される暗号資産
発行可能上限額	8,999,999,999 XEM
一般的な性格	分散型の価値保有・価値移転の台帳データ維持のための、暗号計算および価値記録を行う記録者への対価・代償として発行される暗号資産
保有・移転記録の秘匿性	公開鍵暗号の暗号化処理を施しデータを記録
価値移転記録の信頼性確保の仕組み	Proof of Importance コンセンサス・アルゴリズム(分散台帳内の不正取引を排除するために、記録者全員が合意する必要があるが、その合意形成方式)の一つであり、保有している基軸暗号資産の量および取引量に応じて採掘の成功確率が上昇するブロックの承認方式。
価値移転認証の仕組み	台帳形式。価値移転認証を求める暗号データを記録者が解読し、利用者および移転内容の真正性を確認して価値移転記録台帳の記録を確定する。
価値移転ネットワークの信頼性に関する説明	オープンネットワークの脆弱性に対し、暗号により連鎖する台帳群(ブロックチェーン)および Eigentrust ++ によるノードの過去動作を監視した評価軸とノードの計算作業量をもって移転記録が認証される仕組みを用い、多数の記録者のネットワークへの参加を得ることによって、データ改竄の動機を排除し、信頼性を確保する。
記録者の信用力に関する説明	ネットワーク内における参加ノード間でトランザクションが共有・検証され、不正なトランザクションは除外され、また不正なトランザクションを送信するノードの評価を下げることで、ネットワーク内の健全性と信用を保つことを基礎としている。

暗号資産の名称	テゾス
ティッカーコード	XTZ
暗号資産の単位	0.000001 XTZ
発行者	Tezos Foundation
発行主体概要	Tezosプラットフォームに関する研究、開発、情報の提供及びコンサルティング等を行う団体。
発行方法	分散型の価値保有・価値移転の台帳データ維持のための、ブロック生成を行う記録者への対価・代償としてプログラムにより自動発行。
発行可能上限額	なし
一般的な性格	分散型の価値保有・価値移転の台帳データ維持のための価値記録を行う記録者への対価・代償として発行される暗号資産。
保有・移転記録の秘匿性	公開鍵暗号の暗号化処理を施しデータを記録
価値移転記録の信頼性確保の仕組み	Proof of Stake コンセンサス・アルゴリズム(分散台帳内の不正取引を排除するために、記録者全員が合意する必要があるが、その合意形成方式)の一つであり、保有している基軸暗号資産の量が多いほど採掘の成功確率が上昇するブロックの承認方式。
価値移転認証の仕組み	台帳形式。価値移転認証を求める暗号データを記録者が解読し、利用者および移転内容の真正性を確認して価値移転記録台帳の記録を確定する。
価値移転ネットワークの信頼性に関する説明	オープンネットワークの脆弱性に対し、暗号により連鎖する台帳群(ブロックチェーン)および当該ネットワークの暗号通貨を多量に保有する人に傾斜的に付与された投票権を使用して選出された記録者による多数決をもって移転記録が認証される仕組みを用い、多数の記録者のネットワークへの参加を得ることによって、データ改竄の動機を排除し、信頼性を確保する。
記録者の信用力に関する説明	ネットワーク内における参加ノード間でトランザクションが共有・検証され、不正なトランザクションは除外され、また不正なトランザクションを送信するノードの評価を下げることで、ネットワーク内の健全性と信用を保つことを基礎としている。

暗号資産の名称	ポルカドット
ティッカーコード	DOT
暗号資産の単位	0.0000000001 DOT
発行者	Web3 Foundation
発行主体概要	分散型ウェブの構築に関する研究、開発、情報の提供及びコンサルティング等を行う団体。
発行方法	ICO、プログラムによる自動発行
発行可能上限額	10 億 DOT
一般的な性格	ポルカドットは、複数の異なるブロックチェーン間を相互接続可能にするブロックチェーンプロジェクト。
保有・移転記録の秘匿性	公開鍵暗号の暗号化処理を施しデータを記録
価値移転記録の信頼性確保の仕組み	Nominated Proof of Stake コンセンサス・アルゴリズム(分散台帳内の不正取引を排除するために、記録者全員が合意する必要があるが、その合意形成方式)の一つ。投票によって取引の承認を委任する承認方式。
価値移転認証の仕組み	台帳形式。価値移転認証を求める暗号データを記録者が解読し、利用者および移転内容の真正性を確認して価値移転記録台帳の記録を確定する。
価値移転ネットワークの信頼性に関する説明	オープンネットワークの脆弱性に対し、暗号により連鎖する台帳群(ブロックチェーン)および当該ネットワークの暗号通貨を多量に保有する人から選出された記録者により移転記録が認証される仕組みを用い、多数の記録者のネットワークへの参加を得ることによって、データ改竄の動機を排除し、信頼性を確保する。
記録者の信用力に関する説明	ネットワーク内における参加ノード間でトランザクションが共有・検証され、不正を行うノードに罰則を科すことで、ネットワーク内の健全性と信用を保つことを基礎としている。

暗号資産の名称	チェーンリンク
ティッカーコード	LINK
暗号資産の単位	0.000000000000000001 LINK
発行者	SmartContract
発行主体概要	チェーンリンクの構築に関する研究、開発等を行う団体。
発行方法	ICO、プログラムによる自動発行
発行可能上限額	10 億 LINK
一般的な性格	外部データとイーサリアムブロックチェーン上のスマートコントラクトを接続する機能を有する分散型サービス。
保有・移転記録の秘匿性	公開鍵暗号の暗号化処理を施しデータを記録
価値移転記録の信頼性確保の仕組み	Proof of Stake コンセンサス・アルゴリズム(分散台帳内の不正取引を排除するために、記録者全員が合意する必要があるが、その合意形成方式)の一つであり、保有している基軸暗号資産の量が多いほど採掘の成功確率が上昇するブロックの承認方式。
価値移転認証の仕組み	台帳形式。価値移転認証を求める暗号データを記録者が解読し、利用者および移転内容の真正性を確認して価値移転記録台帳の記録を確定する。
価値移転ネットワークの信頼性に関する説明	オープンネットワークの脆弱性に対し、暗号により連鎖する台帳群(ブロックチェーン)および記録者による多数決をもって移転記録が認証される仕組みを用い、多数の記録者のネットワークへの参加を得ることによって、データ改竄の動機を排除し、信頼性を確保する。
記録者の信用力に関する説明	ネットワーク内における参加ノード間でトランザクションが共有・検証され、不正を行うノードに罰則を科すことで、ネットワーク内の健全性と信用を保つことを基礎としている。

暗号資産の名称	シンボル(Symbol)
ティッカーコード	XYM
暗号資産の単位	0.000001 XYM
発行者	なし
発行主体概要	なし
発行方法	約 78 億XYMがSymbolブロックチェーンのローンチに際して行われたスナッフショット時のXEM保有者に割り当て、残りの約 12 億XYMはプログラムによる自動発行
発行可能上限額	8,999,999,999 XYM
一般的な性格	分散型の価値保有・価値移転の台帳データ維持のための、暗号計算および価値記録を行う記録者への対価・代償として発行される暗号資産
保有・移転記録の秘匿性	公開鍵暗号の暗号化処理を施しデータを記録
価値移転記録の信頼性確保の仕組み	POS+ (Proof of Stake Plus) XYMの記録保管にかかるコンセンサス・アルゴリズムにはビザンチン障害耐性のあるPOS+が使われている
価値移転認証の仕組み	台帳形式。ネットワークへの貢献について一定要件を満たした記録者が、利用者および移転内容の真正性を確認して価値移転記録台帳の記録を確定する
価値移転ネットワークの信頼性に関する説明	オープンネットワークの脆弱性に対し、暗号により連鎖する台帳群(ブロックチェーン)によるノードの過去動作を監視した評価軸とノードの計算作業量をもって移転記録が認証される仕組みを用い、多数の記録者のネットワークへの参加を得ることによって、データ改竄の動機を排除し、信頼性を確保する
記録者の信用力に関する説明	1 万XYM以上を保有する記録者であればハーベスティングに参加可能であり、かつ重要度スコアは保有額だけでは定義されない。したがって、より積極的にネットワークに貢献するノードほどハーベスティングを行う機会を得るといふ、公正なネットワークを構築することが可能と考えられる

暗号資産の名称	ポリゴン(Polygon)
ティッカーコード	MATIC
暗号資産の単位	0.00000001 MATIC
発行者	Polygon
発行主体概要	イーサリアムのスケーリング(利用拡大)に際し発生している問題の解決を目指すために開発等を行う団体。
発行方法	IEO、プログラムによる自動発行
発行可能上限額	100 億 MATIC
一般的な性格	分散型の価値保有・価値移転の台帳データ維持のための、暗号計算および価値記録を行う記録者への対価・代償やネットワークの運用や開発方針の合意を行うための投票などで使用される暗号資産
保有・移転記録の秘匿性	公開鍵暗号の暗号化処理を施しデータを記録
価値移転記録の信頼性確保の仕組み	Proof of Stake コンセンサス・アルゴリズム(分散台帳内の不正取引を排除するために、記録者全員が合意する必要があるが、その合意形成方式)の一つであり、保有している基軸暗号資産の量が多く長期間であるほどブロック生成(承認)の成功確率が上昇する承認方式。
価値移転認証の仕組み	台帳形式。価値移転認証を求める暗号データを記録者が解読し、利用者および移転内容の真正性を確認して価値移転記録台帳の記録を確定する。
価値移転ネットワークの信頼性に関する説明	オープンネットワークの脆弱性に対し、暗号により連鎖する台帳群(ブロックチェーン)および当該ネットワークの暗号通貨を多量に保有する人や保有期間の長い人に傾斜的に付与された投票権を使用して選出された記録者による多数決をもって移転記録が認証される仕組みを用い、多数の記録者のネットワークへの参加を得ることによって、データ改竄の動機を排除し、信頼性を確保する。
記録者の信用力に関する説明	ネットワーク内における参加ノード間でトランザクションが共有・検証され、不正を行うノードに罰則を科すことで、ネットワーク内の健全性と信用を保つことを基礎としている。

暗号資産の名称	メイカー
ティッカーコード	MKR
暗号資産の単位	0.00000001 MKR
発行者	Maker Foundation
発行主体概要	Maker Foundationは、Makerプロトコルの長期的な安全性および持続可能性の確保を行い、プロトコルの分散化を目的に設立された。同社はいずれ解散する予定であり、ソフトウェア開発インフラの一部など、特定のウェブ・プロパティの管理権を、Makerガバナンスで承認されたDAOのコアユニットへ移行することを目指している。実態としてのMaker Foundationは、ケイマン諸島の財団会社であるMaker Ecosystem Growth Foundation (MEGF)の下で保証有限責任会社として保持されている。
発行方法	Ethereumブロックチェーン上で発行
発行可能上限額	1,005,577 MKR
一般的な性格	MakerDAOはEthereumブロックチェーン上に構築された自律分散型組織である。このプロジェクトは、ガバナンストークンであるMKRを保有する世界中のユーザーによって管理されており、エグゼクティブ投票やガバナンス投票などのガバナンスシステムを通して、MKR保有者はMakerプロトコルとDAI(米ドルにソフトペグした暗号資産)の金融リスクを管理し、その安定性、透明性および効率性を確保している。
保有・移転記録の秘匿性	公開鍵暗号の暗号化処理を施しデータを記録
価値移転記録の信頼性確保の仕組み	Proof of Stake コンセンサス・アルゴリズム(分散台帳内の不正取引を排除するために、記録者全員が合意する必要があるが、その合意形成方式)の一つであり、保有している基軸暗号資産の量が多いほど採掘の成功確率が上昇するブロックの承認方式。
価値移転認証の仕組み	台帳形式。価値移転認証を求める暗号データを記録者が解読し、利用者および移転内容の真正性を確認して価値移転記録台帳の記録を確定。
価値移転ネットワークの信頼性に関する説明	オープンネットワークの脆弱性に対し、暗号により連鎖する台帳群(ブロックチェーン)および記録者による多数決をもって移転記録が認証される仕組みを用い、多数の記録者のネットワークへの参加を得ることによって、データ改竄の動機を排除し、信頼性を確保する。
記録者の信用力に関する説明	記録者による多数の合意がなければ不正が成立せず、記録者が十分に多数であることによって、個々の記録者の信用力に頼らず、記録保持の仕組みそのものを信用の基礎としている。

暗号資産の名称	ジパングコイン (Zipangcoin)
ティッカーコード	ZPG
暗号資産の単位	0.0001 ZPG
発行者	三井物産デジタルコモディティーズ株式会社
発行主体概要	三井物産株式会社の100%子会社であり、暗号資産発行事業を営むために設立された。
発行方法	会員受託分が、都度発行者より発行される
発行可能上限額	390億円相当量
一般的な性格	分散型の価値保有・移転の台帳(ブロックチェーン)上で発行され、データとして記録される。状況に応じて追加発行される。
保有・移転記録の秘匿性	公開鍵暗号の暗号化処理を施しデータを記録
価値移転記録の信頼性確保の仕組み	BFK2 記録者の全ノードのうち多数(2/3以上)のノードの合意形成により、価値移転を記録、全ノードにてその合意に基づく分散台帳記録を保管。
価値移転認証の仕組み	台帳形式。価値移転認証を求める暗号データを記録者が解読し、利用者および移転内容の真正性を確認して価値移転記録台帳の記録を確定する。
価値移転ネットワークの信頼性に関する説明	価値移転のためのネットワークにつき、アクセスが許可されたもののみ参加できる構成とし、信頼性の担保を図る。
記録者の信用力に関する説明	ブロックチェーン運営組織における全構成員の合意により記録がなされることから、記録保持の仕組みそのものを記録者の信用の基礎としている。

暗号資産の名称	フレア(Flare)
ティッカーコード	FLR
暗号資産の単位	0.000001 FLR
発行者	Flare Networks Limited
発行主体概要	Flare Networks Limitedは、新たなブロックチェーンネットワークの開発を行う営利企業。
発行方法	メインネットローンチ時に、プログラムによる自動発行
発行可能上限額	1,000億 FLR
一般的な性格	分散型の価値保有・移転の台帳(ブロックチェーン)上で発行され、データとして記録される。状況に応じて追加発行される。
保有・移転記録の秘匿性	公開鍵暗号の暗号化処理を施しデータを記録
価値移転記録の信頼性確保の仕組み	Federated Byzantine Agreement (FBA) は合意に参加する参加者それぞれの信頼に基づくクォーラムと呼ばれる部分ネットワークを形成するP2P向けのコンセンサス機構であり、従来のビザンチン合意 (BA) 機構と比べ、ノードの参加が自由である大きな特徴となっている。
価値移転認証の仕組み	FBAでは、ノードは完全に独立した意思決定者としてトランザクションを引き受け、そのトランザクションの承認または非承認を決定後、ネットワークの他のノードがこの決定に同意可否の投票を行い、クォーラム(必要な最低限の投票数)に達すると価値移転認証が行われる。また、ノードのネットワーク障害を懸念して、各種ノードは事前にUnique Node List (UNL) と呼ばれる、コンセンサスのために依存するノードを決定している。
価値移転ネットワークの信頼性に関する説明	ノードとして誰でも簡単に参加することができ、完全に独立した意思決定者として価値移転認証を行うことができる。
記録者の信用力に関する説明	記録者はネットワーク要件を満たすことで誰でも参加することができ、記録者自身が独立した意思決定者としてトランザクションの価値移転を行うことができる。

暗号資産の名称	シバイヌ(Shiba Inu)
ティッカーコード	SHIB
暗号資産の単位	0.00000001 SHIB
発行者	なし
発行主体概要	なし (Ryoshiという匿名開発者によって発行され、以降は不特定の保有者により集団運営される)
発行方法	Ethereumブロックチェーン上で発行
発行可能上限額	9,999,910億 SHIB
一般的な性格	NFT発行、メタバース構築、Layer2開発等の運用が行われており、ガバナンス投票権としての利用、Dapps内での決済、送金手段等の多岐にわたるユースケースがある。
保有・移転記録の秘匿性	公開鍵暗号の暗号化処理を施しデータを記録
価値移転記録の信頼性確保の仕組み	Proof of Stake コンセンサス・アルゴリズム(分散台帳内の不正取引を排除するために、記録者全員が合意する必要があるが、その合意形成方式)の一つであり、保有している基軸暗号資産の量が多いほど採掘の成功確率が上昇するブロックの承認方式。
価値移転認証の仕組み	台帳形式。価値移転認証を求める暗号データを記録者が解読し、利用者および移転内容の真正性を確認して価値移転記録台帳の記録を確定。
価値移転ネットワークの信頼性に関する説明	オープンネットワークの脆弱性に対し、暗号により連鎖する台帳群(ブロックチェーン)および記録者による多数決をもって移転記録が認証される仕組みを用い、多数の記録者のネットワークへの参加を得ることによって、データ改竄の動機を排除し、信頼性を確保する。
記録者の信用力に関する説明	記録者による多数の合意がなければ不正が成立せず、記録者が十分に多数であることによって、個々の記録者の信用力に頼らず、記録保持の仕組みそのものを信用の基礎としている。

暗号資産の名称	パレットトークン (Palette Token)
ティッカーコード	PLT
暗号資産の単位	0.00000001 PLT
発行者	株式会社 HashPalette
発行主体概要	株式会社HashPaletteは、マンガを中心とした電子書籍分野においてリードしている株式会社Link-Uと、ブロックチェーン関連分野で実績を有する株式会社HashPortが共同で2020年3月2日にジョイントベンチャーとして設立された。
発行方法	IEO、Ethereumブロックチェーン上で発行
発行可能上限額	10億 PLT
一般的な性格	PLTはNFTの決済に使用されるだけでなく、NFTを安定して発行・流通するためのシステム利用手数料の支払い通貨としても機能する。また、ユーザーによる投票制度などを通じてパレットエコシステム全体の健全な成長を促すためにも利用される。
保有・移転記録の秘匿性	公開鍵暗号の暗号化処理を施しデータを記録
価値移転記録の信頼性確保の仕組み	Proof of Stake コンセンサス・アルゴリズム(分散台帳内の不正取引を排除するために、記録者全員が合意する必要があるが、その合意形成方式)の一つであり、保有している基軸暗号資産の量が多いほど採掘の成功確率が上昇するブロックの承認方式。
価値移転認証の仕組み	台帳形式。価値移転認証を求める暗号データを記録者が解読し、利用者および移転内容の真正性を確認して価値移転記録台帳の記録を確定。
価値移転ネットワークの信頼性に関する説明	オープンネットワークの脆弱性に対し、暗号により連鎖する台帳群(ブロックチェーン)および記録者による多数決をもって移転記録が認証される仕組みを用い、多数の記録者のネットワークへの参加を得ることによって、データ改竄の動機を排除し、信頼性を確保する。
記録者の信用力に関する説明	記録者による多数の合意がなければ不正が成立せず、記録者が十分に多数であることによって、個々の記録者の信用力に頼らず、記録保持の仕組みそのものを信用の基礎としている。

暗号資産の名称	ザ・サンドボックス(The Sandbox)
ティッカーコード	SAND
暗号資産の単位	0.00000001 SAND
発行者	TSBMV Global Limited
発行主体概要	発行主体であるTSBMV Global Limitedは、仮想空間上のゲームプラットフォームThe Sandboxを提供しており、プラットフォームにおける通貨としてSANDを発行している。
発行方法	Ethereumブロックチェーン上で発行
発行可能上限額	30億 SAND
一般的な性格	The Sandbox というメタバースプラットフォーム内の基軸通貨としての利用や、ステーキング、クリエイターインキュベーションなどに利用されている。 プラットフォームが提供する専用ツールを使用することで誰でも比較的容易にアバターやデジタルグッズを生成でき、同プラットフォーム上に展開するマーケットプレイスで取引する事も可能。
保有・移転記録の秘匿性	公開鍵暗号の暗号化処理を施しデータを記録
価値移転記録の信頼性確保の仕組み	Proof of Stake コンセンサス・アルゴリズム(分散台帳内の不正取引を排除するために、記録者全員が合意する必要があるが、その合意形成方式)の一つであり、保有している基軸暗号資産の量が多いほど採掘の成功確率が上昇するブロックの承認方式。
価値移転認証の仕組み	台帳形式。価値移転認証を求める暗号データを記録者が解読し、利用者および移転内容の真正性を確認して価値移転記録台帳の記録を確定。
価値移転ネットワークの信頼性に関する説明	オープンネットワークの脆弱性に対し、暗号により連鎖する台帳群(ブロックチェーン)および記録者による多数決をもって移転記録が認証される仕組みを用い、多数の記録者のネットワークへの参加を得ることによって、データ改竄の動機を排除し、信頼性を確保する。
記録者の信用力に関する説明	記録者による多数の合意がなければ不正が成立せず、記録者が十分に多数であることによって、個々の記録者の信用力に頼らず、記録保持の仕組みそのものを信用の基礎としている。